

令和4年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
東北ブロック受賞事例の概要

【農林水産大臣賞】

ささえあいから花開く日向

○団体名 日向^{にっこり}コミュニティ振興会（会長 小松^{こまつ} 幸雄^{さちお}）

○所在地 山形県酒田市

○むらづくりの背景・経緯

酒田市日向地区は過疎化・人口減少の進行に伴って日向小学校が閉校となり、住民の間には地域が廃れてしまうのではとの危機感が生まれていた。市の施策により公民館を廃止しコミュニティセンター（以下、「コミセン」とする。）へ移行する年と閉校が重なったことで、旧小学校をコミセンとして平成21年から再活用することとなった。

「地域が一体となり、支え合い、助け合い、誰もが安心して暮らし続けることができる日向地区」を目指し、振興会を中心にワークショップ形式での話し合いを重ね、地域の課題解決に取り組んでいる。

○むらづくりの内容

（1）農業生産面

地域の農業法人から土づくり指導を受けている移住者に対し、地域伝統野菜研究会への入会案内を行うなど、地域の案内役になっている。また、令和4年にはお米づくりのお手伝いワークショップを開催するなど、農作業を通じて「中山間地域における農業」への理解を広げる取組を行っている。

（2）生活・環境整備面

①人が集う場所づくり

コミセン内のカフェ「日向里（にっこり）かふえ」では、「日替わり店長」方式で、地域のお母さん達、大学生、地区の飲食店等の幅広い年代が活躍できる場を作り、産直・手作り雑貨コーナーでの農産物や加工品・住民の作品販売など、経済・生活面への支援を行っている。

また、店舗までは足を運びにくい中山間地の住民へは、企業の移動販売の取組と連携し、暮らしの安心と楽しさを届ける取組を支援している。

②除雪ボランティア

地域住民だけでは十分な除雪作業をすることが困難な状況であるため、除雪ボランティアの取組を平成24年度から行っている。

③ふれあい給食

年6回、高齢者世帯へ弁当の配食を行っている。高齢者への声掛け・見守り活動も兼ねており、高齢者の日常生活を支える仕組みとなっている。



にっこり
日向里かふえスタッフ